

さぬきの授業 基礎・基本 実践事例

「話し合いが苦手な子どものための指導」の工夫

丸亀市立城西小学校 上原 美奈子

○ 第6学年 単元「問題を解決するために話し合おう」(東京書籍)

1 単元の目標

問題の解決に向けて協力して話し合うことができる。

自分の意見を的確に伝え、相手の発言の意図を考えながら話し合うことができる。

2 児童の実態

アンケート結果より、話し合いが苦手な児童には、大きく分けて、3つの要因があると考えられる。

①話し方が分からない

技術不足
経験不足

②話すことがない

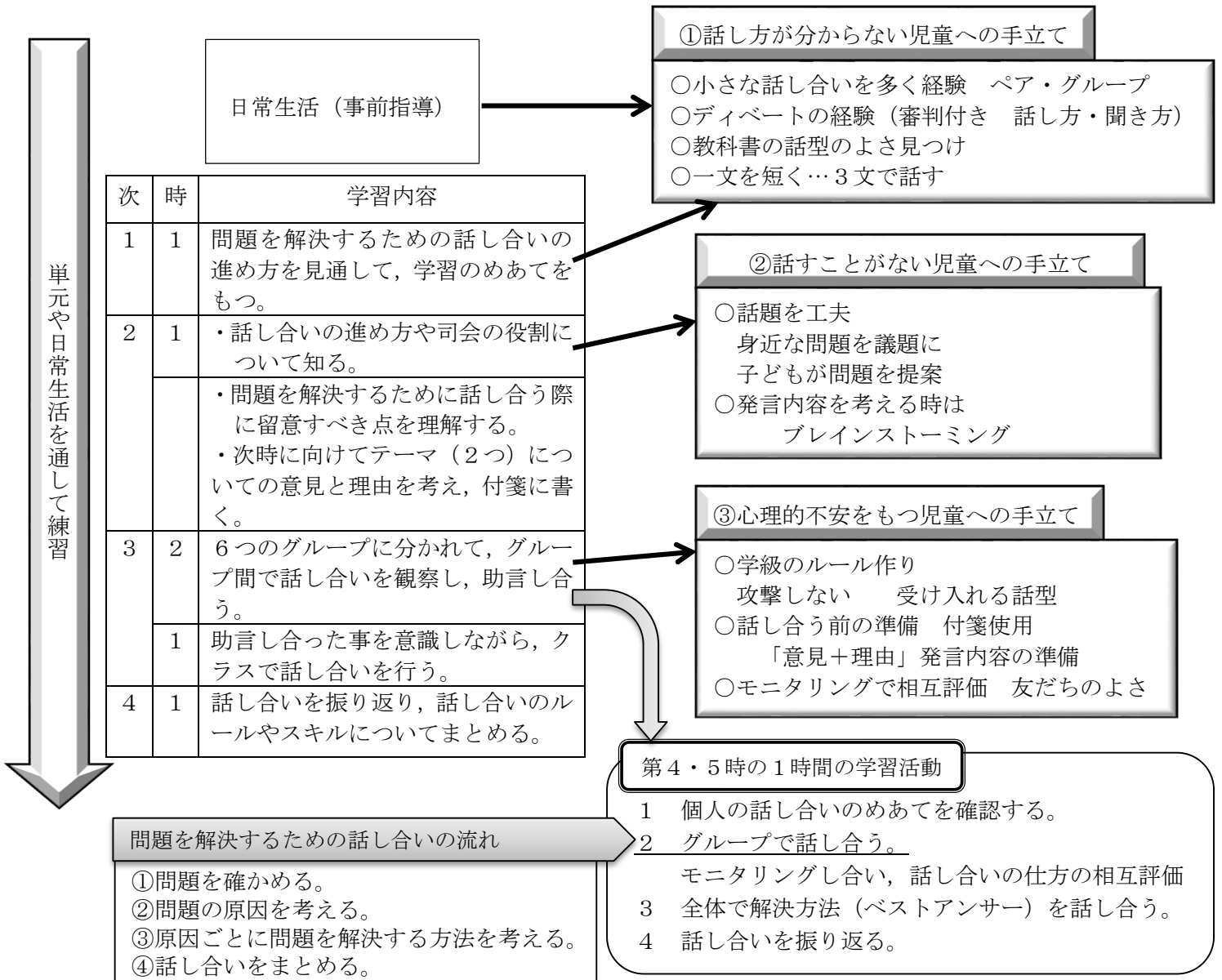
話す内容が思い浮かばない
何を話したらよいか分からない

③心理的不安

友だちがどう思っているか
経験不足

3 学習指導計画及び指導の工夫

実態分析に対して、それぞれを高めるための手立てを考えて実践した。単元を通してだけでなく、日常的に(他教科、朝の会・帰りの会等の短時間で)行えるもので、効果的なものを選んで行った。

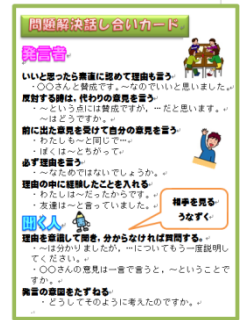


4 手立てとその効果 (効果：○話し合いが苦手な子 ◎話し合いが得意な子)

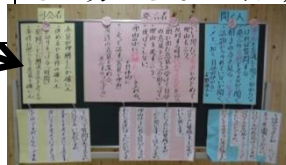
実践内容①「話し方が分からない」児童への手立て

手立て	手立ての効果
話し合う経験を積む ・ディベート…3人1組で、1名は審判役で実施。おもしろい身近なテーマ(消しゴムvs修正ペン、固形石鹼vs液体石鹼等)で練習。 ・小さな(ペア・グループの)話し合いを増やす	○ 相手の発言をよく聞き、つなげて話すことができるようになった。 ○ 意見と理由を聞き取れた。 ○ 話し合っている内容がよく分かり、友だちの意見に反応しやすい。
1文を短く・3文で話す みんなが平等に発言する。「①友だちと同じか②自分の考え③理由」で簡潔に話す。	○ パターン化→自信 ○ 簡潔に話せるようになった。
話し方・聞き方支援教材 経験や教科書を元に、話し合いにおける、話し方・聞き方のポイントをまとめた。 ・進行・発言の話型カード ・教室掲示	◎ グループみんなのペースを見て進行できるようになった。 ○ 分からない時は、素直に聞く。

話型カード



個人の課題設定や振り返りの場面で使用。達成したら花丸カードを貼る。



司会・発言者・聞く人がそれぞれが1人1枚持つ。

実践内容②「話すことがない」児童への手立て

手立て	手立ての効果
話題の工夫 興味をもち、経験をもとに話し合いに参加できるように、クラスの問題を議題にする。	○ 理由の中に経験談を入れ、積極的に発言できた。 ○ クラスの問題を解決するという問題意識を一人一人がもてた。
発言内容はブレインストーミングで 経験したことから問題の原因や解決方法をたくさん挙げ、自信をもって発言できる内容を選択	○ 発表だけでなく、書く時も経験とつないで考える力がついた。 ◎ 話し合いで、多面的に考えられるようになった。

実践内容③「心理的不安」がある児童への手立て

手立て	手立ての効果
学級のルール作り 話し方を振り返る学習の見通しをもつ第1次で、確認する。協力して話し合う態度を身に付ける。攻撃しない、受け入れる話型(発言者に反対する時)	○ 聞き手の受容的な態度や話し方から、友だちに質問や反論されることを気にせずに発言できた。 ◎ 反対意見を言う時は、必ず代案を考えて伝えることで、話し合いの雰囲気がよくなった。
話し合う前の準備 「意見+理由」という発言内容を整理しておく。意見を付箋に書き、話し合いで活用→話し合いが視覚化され、話し合う課題が明確になる	○ チェックカードをもとに、友だちから賞賛されることで、恥ずかしさや自信のなさを解消できた。 ○ 個人の目標をもって話し合えた。
モニタリングで相互評価 よい緊張感を保ち、相手のよさを見つけて伝える相互評価	○ 話し方や聞き方、目線など、細かな点で手本とする児童を観察できた。 ○ 自分の考えに自信をもって発言できた。友だちの意見と共通点・相違点に気づきやすくなった。
動画撮影 グループの話し合いの様子をタブレットで撮影する。	○ 意見を視覚化することで、話し合っている内容を理解し、発言できた。



チェックカード



グループで話し合ってまとめたシート

全体を通して

- ・授業中の発表への自信(挙手回数の増加・大きな声で発表する)
- ・友だちの発表に対して、話題ごとに、話を区切って話し合いができるようになった。
- ・発言の意図を理解しようと、進んで質問することができた。

アンケートの再調査より

7 話し合いの授業を通してできるようになったことはなんですか。

「自分で意見を考え発言できるようになった。」

「前より、恥ずかしいと思わなくなり、自信が少し持てた。」

「たぶん授業で手を上げられるようになった。」

「理由が少しずついえるようになった。」

「な、よく出来る理由がわかるようになった。」